

今年の夏も全国各地でC A I 研修会が開かれます！



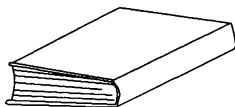
うとうしかった梅雨が明け、本格的な夏がやってまいりました。読者の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年も、ECONewsは厚い（熱い？）思いでC A I 研修会を実施します。開催地は、全国十余りの地域です。詳細は4ページをご覧ください。

C A I 研修会は、夏の恒例行事としてすっかり定着してきました。毎年、参加される先生方が何人もいらっしや、会場では研修の合間に旧交をあたためあう風景も見られます。C A I が普及し、研修希

望者の裾野が広がるとともに、ECONewsのスタッフだけではすべての研修会に対応しきれなくなりつつあります。そこで、今年、初のインストラクター研修をおこなうことにしました。各地の優秀な先生方に集まっていただいてインストラクターとしての研修を受けてもらい、各地で伝達講習をしてもらおうと考えたわけです。今年からは、4ページに記したような研修会以外にも、全国各地でECONewsのインストラクターによる研修会が開かれます。ご期待下さい。（余田 義彦）

夏休みにこの一冊（本のご紹介）



アルフレッド・ボーク著，塚本榮一訳

21世紀に向けた学校教育とコンピュータ

B5判／274pp.／3296円／丸善

最近、教育とコンピュータに関する書籍の発行が相次いでいる。しかし、内容がいも加減であったり、著者の一人よがりが目立つ書籍も少なくない。そうしたなかで、本書だけは、「うん。うん。」とうなずきながら一気に読み終わられる内容を持っている。皆さんにお勧めしたい一冊である。

本書の著者アルフレッド・ボークは、二十数年間、米国でC A I 研究の第一人者として活躍してきた人である。彼は、カリフォルニア大学アーバイン校の教育工学センターに籍を置き、さまざまなコースウェア開発プロジェクトに関わってきている。また、物理教育におけるシミュレーションソフトの開発は特に有名で、プログラミング言語の教育についても造詣が深い。本書は、そうした著者の豊富な経験に基づいて書かれている。

本書で扱っている内容は、次のようなものである。

- ・プログラミング教育
- ・コンピュータリテラシー
- ・コンピュータのツールの利用
- ・コンピュータによる学習
- ・教育におけるコンピュータの長所と短所
- ・コンピュータ教材の評価
- ・教育におけるコンピュータ利用の問題

- ・コースウェアの開発手法
- ・コンピュータと教育の未来

本書が書かれたのは数年前である。しかし、内容的には、今読んでも少しも古いところがない。現在、多くの先生方が学校現場で疑問に思い、悩んでいるようなことごとについて、どのような点が大切な、またどのように取り組めばよいか具体的にわかりやすく書かれているのである。技術的な話は排除されており、教育的観点から一貫して問題をとらえている点も好感がもてる。

本書で、著者が繰り返し強調しているのは、次のようなことごとである。

- ・コンピュータと教育の議論では、技術より教育の問題を重視すべきである。
- ・コンピュータと教育の議論では、現在だけでなく未来を考えなければならない。
- ・コンピュータは、いろいろな方法で教育に役立てられる。どの使い方が一番良いか教条的に決めることは良くない。
- ・コンピュータのツールの利用には、限界と問題点がある。
- ・今の授業のやり方を、そのままC A I に載せてしまってはよくない。

3ページへ続く

英語コースウェア開発プロジェクトいよいよ開始！！

CAIの授業をやりたいのだけど、ちょうどよいコースウェアがない。だからといって自分で開発する時間はないし・・・どこかに教材がいっぱいあってそれを自由に使うことができたら、もっとCAIの授業をすることができるのになあ。こんなふうに考えたことはありませんか？

ECOnewsにも、もっと英語の教材はありませんか？という問い合わせがよくあります。コースが足りないならみんなで作ろう！ちょうどこれから夏休みだしね、ということでECOnews会員の英語の先生が集まってコースウェア開発のためのプロジェクトチームを作りました。1人でコースウェアを作るのは大変だけど、仲間といっしょならなんとかなるだろうと頑張ることにしたのです。

ではどんなコースを作ろうかと相談した結果、数ばかりあってもしょうがないということになり、重要！と思われる項目10個にしぼって、それぞれが分担して開発することにしました。

10個の項目というのは右表の通りです。

橋本先生（富木島中）は現在どの単元を担当するか思案中です。

英語コースウェア開発プロジェクトに参加したいという先生が他にもいらっしゃいましたら、ぜひE

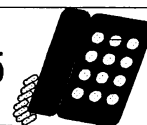
開発項目	開発状況	開発者
< 1年生 > 1. 現在進行形 2. 一般動詞（現在形） 3. be動詞	完了	募集中 松高（南部中） 募集中
< 2年生 > 4. 受動態 5. 一般動詞の過去形 6. 不定詞の3用法 7. 比較級・最上級	完了 開発中 開発中	松高（南部中） 募集中 西山（南部中） 松高（南部中） ・渥美（筑波大）
< 3年生 > 8. 関係代名詞 9. 分詞の形容詞的用法 10. 現在完了形	完了 開発中 開発中	渥美（筑波大） 南部中英語科 矢口（桜中） ・桜井（竹園東中）

CONewsまでご連絡ください。いっしょにがんばりましょう。

1学期が終わればいよいよ夏休み。普段は忙しい先生方もコースウェアを完成させるチャンスです。他教科の先生方も仲間を募って教材を開発しませんか？

（担当：渥美）

98用studYwriter News No.3 7/15



☆98用バージョンアップのお知らせ

お待たせ致しました。皆様のご協力により、バグのとれた新バージョンのstudYwriterが完成しました。

試用協力者の皆さん、ご協力ありがとうございました。studYwriterの登録者の方には、7月中旬にバージョンアップ用フロッピーが送られます。

☆FMR-50、TOWNS用も完成！

FMR-50、FM-TOWNS用のstudYwriterも完成しました。すでに長野県教育センター、青森県などの研修会で利用され始めました。

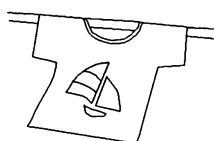
☆研修会参加者には特典が！

この夏のCAI研修会（中央研修会、

地域研修会等）の参加者には、studYwriterの入手に関する特典があります。

☆ごらんになりましたか？

studYwriterシリーズが、6月号の『NEW 教育とマイコン』につづいて、『マイコン』7月号、『I/O』7月号でも紹介されました。特に『I/O』の記事（PRページ）は、この話題のシリーズの要点をわかりやすくまとめてあります。研修会等での紹介に役立ちます。



連絡先

〒305 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学学術情報処理センター4F
ECOnews係
Tel. 0298(53)2454 Fax. 0298(53)2983

本のご紹介の続き

- ・教師は、良いソフトと悪いソフトを見分けられるようにならなければならない。
- ・すべての人がプログラミングを学ぶ必要はない。
- ・C A I教材で授業をするための教師研修が重要である。
- ・教育でのコンピュータ利用は、始まったばかりである。コンピュータはまだ私たちの知らない可能性をたくさん秘めている。

本書を読んでいると、著者が現実主義者であることがよくわかる。著者は、教育現場へのコンピュータの導入を数多く経験し、そこでどのようなことが起こったか、冷静な研究者の目で分析しているのである。本書には、そうした経験にもとづくと思われる記述が随所に見られる。

E C O N E W Sの読者は、本書を読まれると、驚かれるに違いない。それほど、著者の主張は、我が国で有識者と呼ばれている人たちの発言と違っているのである。

たとえば、本書では、ツールの利用に対して冷静にその盲点や限界が指摘されている。また、L O G Oなどプログラミング言語の基礎教育はC A Iでおこなうべきだと主張している。そしてまた、コースウェアの開発手法に関する解説では、表計算ソフトの使い方を教えるコースウェアを例として取り上げている。こうしたことから、筑波大のC A Iグループが度々主張し、実践研究を重ねてきたことである。同様の主張が、海の向こうでも著名な学者によって繰り広げられていたのである。

本書は、細部では評者としては異論を唱えたくない部分もある（たとえば、生徒何人にコンピュータ1台が適当かといった議論など）。また、日本の現状にあわない部分もある（たとえば、米国では実用に耐えるオーサリングシステムがないといった議論など）。しかし、本書が、教育とコンピュータに関する数多い書籍のうち、最も重要なものの一つであることは間違いない。（評者：余田 義彦）

ご紹介『新コンピュータ支援教育システムの概要に関する調査研究報告書』（R I S E）

東京工業大学の坂元昂教授を委員長とする「新コンピュータ支援教育システム調査委員会」に、東原が委員として参加し、学習制御調査研究分科会の主査を務めました。分科会メンバーとして余田も参加しました。この分科会では、主に、現在市販されている内外のゲームやシミュレーションソフトを中心にレビューし、学習者が主体的に取り組める教育用ソフトへの示唆、応用への望ましいありかたを分析、報告しています。巻末には、内外の教育ソフトを評価した資料も付けられています。

本報告書をご希望の方は、500円分（送料とも）の切手を同封の上、E C O N E W Sまでお申し込み下さい。

E C O N E W Sの仲間たち

- ・岡田俊一・井出清「生徒名を入れたS-P表の作成」（学研『NEW 教育とマイコン』'91.8）
- 予告：『NEW 教育とマイコン』9月号は、教育用ネットワークの大特集号です。東原は「教育ネットワーク10の誤解」を執筆しました。「ネットワークって何ですか？」と言う質問に悩まされている方、自分自身でも「ネットワーク??？」という方、ご期待下さい。

☆ C A I 関連会社紹介（その1） コースウェアの開発・入力、引き受けます！

学校の先生の構想をコースに展開して行く、あるいは、先生方がコーディング用紙に書いたコースを入力して、動作チェックをし、きちんと動くコースにして学校へ納入するといった仕事をしている会社があります。

（株）教育出版センターC A Iシステム事業部は、そうした会社のひとつで、すでに、中部地方の複数の教育委員会から、コースウェアを受注しています。

この会社のスタッフには、先生方と同じように、コースウェア作成の講習会に出席してトレーニングを受けた人が何人もいて、実際に、コースウェアの開発に当たっています。業務内容の詳細については、
（株）教育出版センターC A Iシステム事業部
〒771-01 徳島市川内町平石流通団地27
TEL. 0886-65-6060 FAX 0886-65-6080 の新開氏へ直接お問い合わせ下さい。

C A I 夏季地域研修会

期間	研修名	研修会場	研修内容	参加費	定員	主催	問い合わせ先
7/28	夏季C A I 研修会	徳島県板野郡上板町神宅字西金屋40 上板中学校 ☎0886-94-2035	C A I 公開授業 C A I 体験 コースウェア作成	2000円	50名	上板中学校 C A I 研究会	上板中学校 中井 ☎ 0886-94-2035 FAX 0886-94-2295
7/29 ～31	C A I コースウェア 作成夏季合同研修会	長野県下伊那郡阿南町新野1310 新野小学校 ☎0260-24-2150	コースウェア作成	5000	30	新野小学校	新野小学校 ☎ 0260-24-2150
8/1 ～3	つくば市C A I 研修会	栃木県矢板市 シャープ栃木研修所 ☎0287-43-1131	コースウェアの基本設計 コースウェア作成		40	つくば市教育委員会	つくば市教職員のみ対象
8/8 ～9	中山町C A I 教材作成夏季合同研修会	愛媛県伊予郡中山町大字出淵2番耕地165番地 中山中学校 ☎0899-67-0009	コースウェア作成 コースウェア活用 オーサリングシステムの使い方	5000	20	中山町教育委員会	伊予郡中山町大字中山 丑314番地1 中山町教育委員会 久保田 ☎ 0899-67-1385
8/8 ～10	西日本C A I 教材作成夏季合同研修会	大阪府摂津市東別府5-1-33 摂津市立別府小学校 ☎06-349-8501 FAX 06-340-0328	コースウェア体験 コースウェアの基本設計 ネットワークの意義と活用方法 情報基礎対応の教材作成 スタディーシリーズでのコース作成	15000 食事代含む	40	コンピュータ教育教材開発研究会	摂津市烏飼下1-7-4 摂津市教育研究所 杉山 ☎ 0726-54-0907 神戸市西区学園西町5-5 神戸市立小寺小学校 岡本 ☎ 078-791-2950
8/10 ～11	夏季スタディーライター研修会	愛知県豊田市保見町西古城92 豊田市教職員会館コンピュータ室 ☎0565-48-2351	スタディーライターの基本操作 S S T を使ったコースの分岐	10000 宿泊 食事代含む	30	豊田教育パソコン利用研究会	豊田市四郷町山畑76-8 豊田市立四郷小学校 上田 ☎ 0565-45-2283 FAX 0565-46-0693
8/17 ～19	更埴市大池自然の家 C A I 研修会	長野県更埴市大字八幡字芝山2-620 更埴市原体験の森宿泊研修施設(大池自然の家) ☎0262-73-4155	C A I 体験 到達目標の分析からコース作成まで スタディーシリーズの紹介、実習 ネットワークの意義と活用 「情報基礎」の指導内容と教材紹介 パソコン導入校の活用事例	12000 市内 15000 市外	50	更埴市教育委員会 更埴市コンピュータ教育開発委員会 更埴校長会 更埴教育会	更埴市森100 更埴市立東小学校 宮原☎0262-72-2217 夜間連絡 宮原(自宅) ☎0262-75-1617 FAX 0262-75-1617
8/22 ～24	平成3年度鹿行地区 情報教育研修会 (鹿行地区の小中学校 教員対象)	茨城県鹿島郡鹿島町宮中2398-1 鹿島町立鹿島中学校 ☎0299-82-1455 FAX 0299-83-7768	C A I に関する教材分析	5000 昼食代含む	30	鹿島町教育委員会	鹿島町教育委員会 学校教育課 ☎ 0299-82-2911
8/26 ～27	マイコン・クラスルームC A I システム 活用研修会	福井県大野市新庄16-7 開成中学校 ☎0779-65-4680	授業におけるネットワークの活用と重要性 コースウェア作成の基礎	5000	40	大野市コンピュータ研究委員会	大野市立陽明中学校 脇本☎ 0779-65-1121
8/28 ～30	C A I 講習会 (東海市・知多地方の先生及びその近郊の先生対象)	愛知県東海市立富木島中学校☎052-603-2355 FAX 052-603-2356	コースの体験 コースの修正 オーサリングシステムの操作	2000 食事代等は含まない	20 最大 40	東海市情報教育研究会	東海市立富木島中学校 大木 ☎ 052-603-2355 FAX 052-603-2356

■C A I 夏季地域研修会の日程や内容などが決まりました。各地域とも研修内容は、C A I 体験やコースウェアの基本設計などからスタディーシリーズの基本操作や情報基礎に関するものまで様々です。定員は残りわずかですけれども自分のニーズに合った内容を行っている地域研修会に参加されてはいかがでしょうか。■技術・家庭科の先生ならば、情報基礎の内容を盛り込んでいる研修会に参加されるとかP C 98シリーズやFMRやT O W N S 上でシャープのオーサリングシステムを使ってコースウェアを作成したいと考えておられる先生ならば、スタディーシリーズの内容がある研修会に参加されればどうでしょうか。